



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月1日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 マースエンジニアリング

コード番号 6419 URL <http://www.mars-eng.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松波 明宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 佐藤 敏昭

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日 配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

TEL 03-3352-8555

平成24年12月10日

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	15,503	14.2	3,535	19.6	3,674	27.5	2,054	30.5
24年3月期第2四半期	13,578	5.9	2,956	5.1	2,882	△5.5	1,574	47.2

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 2,005百万円 (26.8%) 24年3月期第2四半期 1,581百万円 (33.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	107.83	—
24年3月期第2四半期	84.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	57,428	43,117	75.1	2,263.47
24年3月期	58,031	42,046	72.5	2,207.21

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 43,117百万円 24年3月期 42,046百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	25.00	—	30.00	55.00
25年3月期	—	30.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,300	5.0	5,900	12.7	6,100	15.3	3,850	38.5	202.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	22,720,000 株	24年3月期	22,720,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	3,670,576 株	24年3月期	3,670,514 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	19,049,425 株	24年3月期2Q	18,545,084 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9
(7) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災以降の復興需要を背景に緩やかな回復基調にある一方で、欧州の財政危機問題や中国の景気減速、円相場の高止まり等、先行き不透明な状況が続きました。

当社グループの主要販売先であるパチンコ業界は、昨年からのパチスロ機の人気が続いて好調を維持しており、パチスロ機を中心とした設備投資が行われました。

このような状況の中、開発型企業グループである当社グループは、開発から製造、販売、アフターサービスに至るまで一貫体制で、製造原価の低減を実現するとともに、多様化する顧客ニーズに適した製品をいち早く開発できる体制や充実したアフターサービス体制で付加価値の向上と他社との差別化を図ってまいりました。また、合併による合理化や業務の改善を推し進め、販売費及び一般管理費の抑制に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高155億3百万円(前年同四半期比14.2%増)、営業利益35億35百万円(同19.6%増)、経常利益36億74百万円(同27.5%増)、四半期純利益20億54百万円(同30.5%増)となりました。

セグメントの実績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

[アミューズメント関連事業]

集客のために玉積み演出が主流となっているパチンコ業界において、「パーソナルPCシステム(以下、「パーソナル」という。)」は従業員の玉運び・玉積み業務をなくし、少人数で効率的なホール運営ができるシステムとして、業界内で認知され、各台計数システムの市場は広がりを見せております。競合他社との価格競争が厳しくなる中で、トータルシステムでの提案販売を行い、特にパチスロ向けメダルサンドの販売が好調に推移しました。

当第2四半期連結累計期間におけるパーソナルの売上実績は107店舗、当四半期連結累計期間末時点における累計導入店は1,064店舗(市場シェア11.1%)となりました。また、パーソナルを含めたサイクルカードシステムの売上実績は114店舗、導入(実稼働)店舗数は累計2,096店舗(市場シェア21.8%)となりました。

この結果、アミューズメント関連事業の売上高は、119億30百万円(前年同四半期比1.8%増)、セグメント利益28億41百万円(前年同四半期比7.6%増)となりました。

[自動認識システム関連事業]

当事業は、アミューズメント関連事業に続く事業の柱として、当社子会社の株式会社マーストークンソリューションが主体となり、販売活動を行ってまいりました。RFIDやバーコード等の「自動認識」をキーワードとする新市場の模索とノウハウの蓄積のため、医療や教育、図書館等、あらゆる分野のビジネス展示会に積極的に出展してまいりました。

アミューズメント関連事業で培ってきたノウハウや技術で実績のあるRFID分野では、主に健診・人間ドック向け、データ収集システム「健診ステーション」、ICカードタイムレコーダー「クロノステーション」、製造業、物流業向け作業管理システム「WM(ワークマネジメント)ステーション」を中心に販売してまいりました。

バーコード分野では、電子機器及び部品業界、物流業界等のFA市場で、信頼と技術力を高く評価されている自社製品を広く販売を進めてまいりました。

この結果、自動認識システム関連事業の売上高は、30億99百万円(前年同四半期比109.6%増)、セグメント利益4億5百万円(前年同四半期比10.4%増)となりました。

[ホテル関連事業]

観光業においては、リーマンショック以後、長引く景気の低迷で国内需要は低い水準で推移し、また、訪日外国人の旅行者数は震災以降、回復傾向にあるものの、隣国との領土問題の影響で伸び悩んでおり、ホテル経営を取り巻く環境は非常に厳しい状況となりました。

福岡市博多区のホテルサンルート博多は、JR博多駅に近い立地の良さと質の高いサービスが評価され、リピート客が多く、震災後に一時的な落ち込みはあったものの、稼働率は震災前の水準に回復いたしました。

静岡県御殿場市のマースガーデンウッド御殿場は、顧客重視のプランの開発に努め、インターネット媒体や旅行代理店等を通じた販売チャネルの拡大で、稼働率のアップを図ってまいりました。

この結果、ホテル関連事業の売上高は、4億72百万円(前年同四半期比22.9%増)、セグメント損失1億64百万円(前年同四半期は2億96百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

当第2四半期連結会計期間末の総資産は574億28百万円となり、前連結会計年度末と比較して6億2百万円減少いたしました。

流動資産は351億9百万円となり、前連結会計年度末と比較して28億99百万円減少いたしました。その減少の主な内訳は、受取手形及び売掛金が22億96百万円減少し64億14百万円となりました。

固定資産は223億18百万円となり、前連結会計年度末と比較して22億96百万円増加いたしました。その増加の主な内訳は、投資その他の資産が25億9百万円増加し72億93百万円となりました。

流動負債は95億14百万円となり、前連結会計年度末と比較して13億87百万円減少いたしました。その減少の主な内訳は、支払手形及び買掛金が2億4百万円減少し30億86百万円、未払法人税等が1億81百万円減少し9億52百万円となりました。

固定負債は47億95百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億87百万円減少いたしました。その減少の主な内訳は、リース債務が2億58百万円減少し27億81百万円となりました。

純資産は431億17百万円となり、前連結会計年度末と比較して10億71百万円増加いたしました。その増加の主な内訳は、利益剰余金が11億19百万円増加し351億84百万円となりました。

自己資本比率は75.1%となり、前連結会計年度末と比較して2.6ポイント増加いたしました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は145億53百万円となり、前連結会計年度末と比較して14億3百万円減少いたしました。

当第2四半期連結累計期間における「営業活動によるキャッシュ・フロー」は21億67百万円の収入(前年同四半期は33億69百万円の収入)となりました。主な要因は、売上債権の減少額21億12百万円等によるものです。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は30億6百万円の支出(前年同四半期は51百万円の収入)となりました。主な要因は、投資有価証券の取得による支出30億9百万円等によるものです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は5億71百万円の支出(前年同四半期は5億52百万円の支出)となりました。主な要因は、配当金の支払額5億71百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、平成24年10月22日に修正しております。詳細につきましては、平成24年10月22日に公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。これによる当第2四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(連結納税制度の適用)

第1四半期連結会計期間より、連結納税制度を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,919,047	9,814,411
受取手形及び売掛金	8,711,272	6,414,679
リース投資資産	4,574,250	4,234,004
有価証券	4,588,334	5,289,812
商品及び製品	2,008,049	2,845,119
仕掛品	389,240	182,326
原材料及び貯蔵品	1,867,897	1,791,257
その他	3,966,432	4,550,183
貸倒引当金	△14,552	△11,802
流動資産合計	38,009,971	35,109,993
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,465,396	8,309,591
土地	5,862,338	5,862,338
その他(純額)	564,158	551,489
有形固定資産合計	14,891,893	14,723,420
無形固定資産		
のれん	144,954	115,963
その他	200,647	185,205
無形固定資産合計	345,601	301,168
投資その他の資産		
その他	5,009,314	7,516,098
貸倒引当金	△225,765	△222,653
投資その他の資産合計	4,783,548	7,293,444
固定資産合計	20,021,043	22,318,033
資産合計	58,031,015	57,428,026
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,290,213	3,086,195
リース債務	2,114,046	2,080,038
未払法人税等	1,133,721	952,660
賞与引当金	406,248	403,942
その他	3,957,328	2,991,618
流動負債合計	10,901,557	9,514,455

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
固定負債		
リース債務	3,040,709	2,781,786
退職給付引当金	117,364	142,205
役員退職慰労引当金	568,755	576,069
資産除去債務	18,500	18,704
その他	1,337,972	1,276,959
固定負債合計	5,083,303	4,795,725
負債合計	15,984,860	14,310,180
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,934,100	7,934,100
資本剰余金	8,371,830	8,371,830
利益剰余金	34,064,452	35,184,391
自己株式	△7,954,082	△7,954,192
株主資本合計	42,416,299	43,536,128
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△370,144	△418,282
その他の包括利益累計額合計	△370,144	△418,282
純資産合計	42,046,155	43,117,846
負債純資産合計	58,031,015	57,428,026

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	13,578,979	15,503,503
売上原価	6,697,094	7,675,622
売上総利益	6,881,885	7,827,880
販売費及び一般管理費	3,925,471	4,292,568
営業利益	2,956,413	3,535,312
営業外収益		
受取利息	2,743	2,777
受取配当金	39,699	42,331
負ののれん償却額	8,098	—
保険解約返戻金	7,905	34,178
その他	50,875	60,084
営業外収益合計	109,322	139,372
営業外費用		
為替差損	4,634	—
持分法による投資損失	178,858	—
その他	1	—
営業外費用合計	183,494	—
経常利益	2,882,241	3,674,684
特別利益		
段階取得に係る差益	271,960	—
投資有価証券売却益	—	21,000
その他	169	—
特別利益合計	272,130	21,000
特別損失		
固定資産除却損	331	—
投資有価証券評価損	273,985	305,082
特別損失合計	274,317	305,082
税金等調整前四半期純利益	2,880,054	3,390,602
法人税、住民税及び事業税	1,441,183	1,198,941
法人税等調整額	△135,547	137,543
法人税等合計	1,305,635	1,336,485
少数株主損益調整前四半期純利益	1,574,418	2,054,116
四半期純利益	1,574,418	2,054,116

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,574,418	2,054,116
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	426	△48,137
持分法適用会社に対する持分相当額	6,691	—
その他の包括利益合計	7,118	△48,137
四半期包括利益	1,581,537	2,005,979
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,581,537	2,005,979

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,880,054	3,390,602
減価償却費	324,060	326,343
のれん償却額	—	28,990
負ののれん償却額	△8,098	—
引当金の増減額(△は減少)	34,764	25,460
受取利息及び受取配当金	△42,442	△45,109
持分法による投資損益(△は益)	178,858	—
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△21,000
段階取得に係る差損益(△は益)	△271,960	—
固定資産除却損	331	—
投資有価証券評価損益(△は益)	273,985	305,082
売上債権の増減額(△は増加)	642,125	2,112,298
リース投資資産の増減額(△は増加)	600,100	320,789
たな卸資産の増減額(△は増加)	19,016	△817,520
営業貸付金の増減額(△は増加)	1,514,506	△806,265
仕入債務の増減額(△は減少)	29,438	△122,982
リース債務の増減額(△は減少)	△652,738	△292,930
前受金の増減額(△は減少)	△840,469	△621,402
その他	385,689	△285,950
小計	5,067,222	3,496,405
利息及び配当金の受取額	42,618	45,029
法人税等の支払額	△1,740,123	△1,373,879
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,369,716	2,167,556
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△50,862	△100,039
投資有価証券の取得による支出	△11,031	△3,009,299
投資有価証券の売却による収入	—	120,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	173,414	—
貸付金の回収による収入	—	486
その他	△60,005	△17,396
投資活動によるキャッシュ・フロー	51,514	△3,006,249
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△102	△110
配当金の支払額	△552,658	△571,034
財務活動によるキャッシュ・フロー	△552,761	△571,144
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,634	6,410
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,863,835	△1,403,427
現金及び現金同等物の期首残高	12,747,852	15,957,187
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,611,688	14,553,759

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アミューズ メント 関連事業	自動認識 システム 関連事業	ホテル 関連事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	11,715,577	1,478,755	384,647	13,578,979	—	13,578,979
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	206,925	32,392	148	239,466	△239,466	—
計	11,922,503	1,511,147	384,795	13,818,446	△239,466	13,578,979
セグメント 利益又は損失 (△)	2,640,906	366,881	△296,129	2,711,658	244,754	2,956,413

(注) 1. セグメント利益の調整額244,754千円には、セグメント間取引消去244,754千円が含まれておりま
す。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アミューズ メント 関連事業	自動認識 システム 関連事業	ホテル 関連事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	11,930,951	3,099,679	472,872	15,503,503	—	15,503,503
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	347,812	100,552	194	448,559	△448,559	—
計	12,278,763	3,200,232	473,067	15,952,063	△448,559	15,503,503
セグメント 利益又は損失 (△)	2,841,524	405,045	△164,534	3,082,035	453,277	3,535,312

(注) 1. セグメント利益の調整額453,277千円には、セグメント間取引消去453,277千円が含まれており
ます。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

前連結会計年度までの報告セグメントは、「アミューズメント関連事業」、「ホテル関連事業」に区分して
おりましたが、当社グループは組織構造の変更に伴い、業績の評価単位を見直した結果、第1四半期連結
会計期間より、「アミューズメント関連事業」及び「その他」に含まれておりました「自動認識システム関
連事業」を新たな報告セグメントとして区分を変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、業績の評価単位変更後の報告セグメントの区分に
基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。